

法政大学 同窓会会報

社会学部同窓会

第4号

社会学部創立40周年に向けて!

発行 法政大学
社会学部同窓会事務局
(水、金)

住所 〒194-02
東京都町田市相原町4342
☎ 0427-83-2421

社会学部同窓会 のさらなる発展を期待 して

同窓会会長 黒坂 一久

法政大学社会学部の創立三十五周年を記念して、多摩キャンパスで、教職員と卒業生の懇親会が開かれたのは、一九八六年三月のことでした。そのあと、有志によって、同窓会設立準備委員会が設立され、まず、卒業生名簿を作成しました。これは、なかなかの難作業であったようです。

同窓会結成総会が開かれたのは、一九八九年三月二五日で、場所は、多摩の社会学部棟でした。早いもので、私たちの同窓会は、設立以来満三年を経過し、今年は四年目に入ります。『会報』の発行も第四号を数えることになりました。この間、同窓会に入会された卒業生は、約四五〇名です。卒業生二万五千名の二パーセントで、参加率はまだまだですが、着実に組織として定着しつつあると言えましょう。

同窓会への期待は、強まる一方ですので、私達の同窓会は、今後、ますます充実した会となっていくことでしよう。着実に育てたいものです。

この機会に、有志の皆様への協力に心から感謝申し上げます。社会学部創立四十周年を記念して、同窓会のさらなる発展を。また、この間、この会のために、何かと便宜をはかってくださった社会学部教授と職員の皆様、および大学当局に対し、厚くお礼申し上げます。

今年度は学部創立四十周年の記念すべき年です。秋には大学の記念事業を盛大に催す予定との事です。同窓会の皆さん、同窓会の目的は、なによりも同窓生同志の親睦を計ることにあります。それ

一九九二年総会案内
今年度の総会を左記の要領で開催いたします。
一九九二年五月

一六日(土曜日)
法政大学市ヶ谷校舎
八三五番教室
午後二時～六時半
〔記念講演〕二時、
なせ若者文化か
中野収社会学部教授
〔総会〕三時半、
四十周年記念行事、等
〔懇親会〕四時半、
教職員食堂にて
会費四、〇〇〇円



と、母校への協力にあると言えましょう。卒業生同志の親睦を通じて、有形無形の社会的価値が発生することでしょう。

母校の社会的評価の高まりは、私達の社会的活動にとって、計り知れない有利な条件を与えてくれることでしょう。同窓会からのいろいろな呼び掛けに、ぜひ、積極的に呼応してください。会合への参加『会報』への寄稿、地域の支部活動、そして、会費納入、募金への協力、等、よろしくお願いいたします。



卒業生に囲まれる黒坂会長
(ホテル・エルモント祝賀会にて)

ヤマトメディカル株式会社
取締役社長 石川 秀雄
〒133 文京区本郷3-30-8
電話 03-3813-5736
昭和 32 年卒

この数年社会学部の人気は、年々高まっている。実際、入学志望者も連続一万人を越え、優秀な学生が集まってきている。社会学部は、今年、学部創立四十周年をむかえる。八四年に第一部が多摩に移転してから数えても早くも来年で十年目である。

社会学部は、これを機に、さらに名実ともに発展することを期して、い

二、国際シンポジウム 十一月二十二日。
三、音楽会十一月月上旬。
四、四十周年記念社会学部教育基金の設立、そのための募金活動。
四十周年記念の集い
記念事業の中心的行事で、同窓会、卒業生の熱烈なる協力をえて、卒業生、在学生、新旧教職員、その他、大学及び学部関係者が一同に会して、懇親のうちに、学部のこれまで

とくに、卒業生と在学生との交流をつうじて、人的ネットワークづくりの一助としたい。
また二一世紀にむけて、学部教育の特色を鮮明にし、その充実をはかるため、記念事業の一環として「学部教育基金」をこの機会に設立するための準備もすすめている。
国際シンポジウム
現代地球社会の「統合と多様化」を全体テーマに、自由に参加して開かれる。四十周年記念事業が成功し、企画、どうり、次の時代にかけての社会学部の発展の文字どおり、大きな第一歩となるために、同窓会、卒業生の積極的なご参加と協力を切に希望したいと思います。社会学部長・石坂悦男

今秋、多彩な催し、 学部創立四十周年記念行事 学部教育発展の大きなステップに

ま、学部創立四十周年記念事業を企画し、準備をすすめていく。主な行事予定は次のとおり。
一、四十周年記念の集い 十月月上旬ー十月十七日(土)を予定。

での歩みをふりかえり、同時に次の時代への学部づくりへの夢と展望を大いに語りあおうとするもので、併せて、新しい社会学部像を内外に積極的

五つのセッションと、一つの記念講演から成る。
一、情報のテクノロジーの高度化と新しい社会、人間像
二、近現代における民族と地域



(写真は石坂学部長)

自由に参加して開かれる。四十周年記念事業が成功し、企画、どうり、次の時代にかけての社会学部の発展の文字どおり、大きな第一歩となるために、同窓会、卒業生の積極的なご参加と協力を切に希望したいと思います。社会学部長・石坂悦男